

耳を大切にしましょう

3月3日は
耳の日です

中耳炎と 外耳道炎

北尾耳鼻咽喉科医院

北尾 健 二 郎

高須東3丁目13-7

耳が痛む病気のなかで代表的な疾患が、中耳炎と外耳道炎です。この二つの疾患は頻度も高く外来でも頻繁に診ますので、その痛みや対処法についてお話してみたいと思います。

外耳道炎は耳の穴の皮膚に傷などが原因で炎症を起こしたものです。この場合は、耳を押ししたり引っ張ったりすると痛みが強くなります。耳掃除などであまり触りすぎない方が良いでしょう。

特に外耳道の奥は皮膚が傷つきやすいので注意が必要です。外耳道炎のなかでもカビで起こるものは外耳道真菌症と言いますが、慢性化しやすいのでしっかりと治しておくことが大事です。中耳炎は中耳腔という鼓膜より奥の小さな空間で起こった炎症を言います。

これは耳を触ることとは関係なく、風邪の時などに鼻と繋がっている耳管という小さな管から鼻や喉のばい菌が来て起こります。

大雑把に言つと、耳を触つていて耳が痛くなつたら外耳道炎で、風邪を引いて鼻水が出ていて耳痛が生じると中耳炎の可能性が高いといえるでしょう。中耳炎で痛みのひどい場合では、溜まっている膿を切開して排出させると楽になります。夜、急に強い耳痛が起こった時は、お子さんなどは眠れなくて大変です。

このような場合、耳鼻科で鼓膜切開などの治療をするのが原則ですが、いろいろな事情ですぐに受診できない時など鎮痛剤があると便利です。痛みさえなくなれば落ち着きますから、翌日病院を受診するまでの日病院を受診するまでものける場合もあります。中耳炎は経過によっては聴力に影響する病気ですから、注意が必要です。

急性中耳炎の痛みが消えた後でも、中耳に水がたまって聴力が落ちてくる滲出性中耳炎に移行しやすいので、最後までしっかりと治してしまふことが重要です。

予防としては、急性中耳炎は風邪に引き続いて起こる鼻炎、副鼻腔炎、咽頭炎が原因になって発症することが多いので、この時点で鼻や喉の治療を開始したいものです。